

地域と共生するFFG

株式会社 リージョナル
クリエーション^{なが さき}長崎

取引店:十八親和銀行 福岡営業部・東京支店

代表取締役社長

いわした ひで き

岩下 英樹 氏



Profile: 1981年 長崎県生まれ、2006年 ジャパネットたかた入社、
2020年 リージョナルクリエーション長崎 取締役就任。地域創生
事業を担当、2023年 代表取締役社長就任

感動とビジネスを両立させた地域創生モデル。

心を込めた質の高い応対とサービスで、誇れる長崎を創りあげる。

プロサッカークラブ「V・ファーレン長崎」の

新たな本拠地となるサッカースタジアムを中心に、アリーナ、ホテル、商業施設、オフィスなどの複合施設を民間主導で開発する地域活性化一大プロジェクト「長崎スタジアムシティ」。長崎・幸町工場跡地活用事業として土地を取得して6年。本年10月14日にいよいよ開業します。

JR長崎駅から徒歩約10分の長崎市中心部に東京ドーム約1.5個分の敷地で展開される同プロジェクトの総事業費は約1,000億円で、1万3,000人の雇用創出が見込まれています。

ジャパネットグループで同プロジェクトの進行および同施設の企画・運営を担う、株式会社リージョナルクリエーション長崎の代表取締役社長である岩下英樹氏にお話を伺いました。

ジャパネットグループが 総力戦で挑む地域創生事業

当グループの主軸企業である株式会社ジャパネットたかたは、良い商品を「見つけて・磨いて・伝える」という考えのもと、テレビ・ラジオ・紙媒体・ECサイトなどのメディアを通じて通信販売事業を繰り広げ、日本中の皆さんにおなじみとなったのは、ご存じのとおりです。

ジャパネットの通信販売事業では、商品を単なる「モノ」として販売するのではなく、その先にあるお客さまの生活が豊かになる場面を想像しながら、自分たちの企業活動を通じて、どのように生活が変わるのかを伝えることを大切にしています。そうした継続的な企業姿勢が生み出したのが、通信販売事業に並ぶ二つめの柱となる「スポーツ・地域創生事業」です。

全国的な少子化傾向のなかで、長崎県内においても各地で著しい人口減少が続く状況があり

ます。若者の県外への流出も、地域の活力を損なう要因となっています。そんな折、三菱重工業長崎造船所幸町工場の再編に伴う跡地の活用事業者募集がありました。そして、地域活性化を目指す事業者として選定いただいたのがきっかけとなり、「長崎の中心地に自前でスタジアムを造ることで長崎出身の会社として地元を活性化したい」という想いが一気にふくらみ、ジャパネットグループの総力を挙げた「長崎スタジアムシティ」のプロジェクトが立ち上げられたのです。

長崎に暮らす人に誇りを 訪れる人に感動を

地元の活性化のために「スポーツを通じて、ワクワク感を届けられる場を創りたい」という思いから、まず2017年に、経営難とコンプライアンス問題で存続危機に陥っていたプロサッカークラブ「V・ファーレン長崎」を救済する形でグループ



岩下社長

具体的な当社の活動ですが、ジャパネットが指定管理をおこなっている「稲佐山」でのロープウェイ・スロープカーの運営、レストラン事業、更には「V・ファールン長崎」の新たな本拠地となるスタジアムを中心とする複合施設「スタジアムシティ」の戦略・企画から現場の運用、スタッフの教育までを一貫通貫して、責任をもって手がける役割を担っています。

私たちが目指すのは、ジャパネット創業の地である長崎の魅力を、周りの人や組織とともに磨き上げ、ワクワクを伝えていく活動を通じて、日本全国の活性化につなげることに。そのために、お客さまに心を込めた質の高い対応とサービスを提供し、感動とビジネスを両立させる民間主導の地域創生モデルを確立して、長崎に住む人々すべてが誇れる長崎、訪れる方が感動に包まれる長崎を創り上げたいと考えています。

地域活性化の原動力となる 魅力的なランドマーク

2020年に長崎ヴェルカの代表取締役社長等も兼任しながら、当社の取締役となって地域創生事業に取り組んで以来、さまざまな紆余曲折を経て、「ようやく長崎スタジアムシティ開業までたどり

着いた」というのが、現在の私の偽らざる実感です。ここへ来て、やろうとしてできなかったこともあり、一方で、周囲とともに活動をコツコツ積み上げてきたなかで何とか形にでき、今後につなげられる成果を出せたといえるものもあります。

「V・ファールン長崎」のホームとなる約2万人を収容できるスタジアム、「長崎ヴェルカ」のホームとなる約6,000席のアリーナ、日本初のサッカースタジアムビューホテル、「食べる・学ぶ・遊ぶ」が詰まった楽しさあふれる商業施設、国内外の企業を誘致する長崎県内最大級のオフィス。長崎スタジアムシティが、長崎を更なる活性化へとけん引する原動力となれば嬉しいです。

スポーツを観戦したい人も 他の楽しみに浸りたい人も

地域創生事業となる「長崎スタジアムシティ」のプロジェクトにおける一番の特色といえるのが、「スポーツを観戦する人も、そうでない人も楽しめる場」の創出です。

その代表例が、日本で初めてサッカースタジアムでビールの醸造をおこなうブルワリー「THE STADIUM BREWS NAGASAKI」。1階の醸造エリアでは年間約9万リットル、定番から

会社化しました。翌2018年、前述の「長崎・幸町工場跡地事業 土地活用事業者募集」に応募。更に、人々のつながりから生み出される感動と、収益をもたらすビジネスを両立させることを目的として、当社が2019年に設立されました。2020年には、長崎県初のプロバスケットボールクラブ「長崎ヴェルカ」も創設される運びとなりました。



ビールの樽に麦芽(モルト)を投入する岩下社長

長崎の特産品を用いた変わり種まで、約100種類
のオリジナルクラフトビールを醸造予定で、2・3
階のレストランエリアに設置した合計10台のタンク



上空から見た長崎スタジアムシティ

から、できたての新鮮なビールを注いで食事とともに
提供する予定です。サッカーやバスケットボールの
試合を観ながら、ここできしか味わえない特別な一杯

を楽しめるのはもちろん、試合のない時でも、ご家族
や友人どうしの集まり、会社の懇親会など、さまざま
な場面でご利用いただけるようになっています。

長崎の人口流出に 対する想い

地域活性化という点では人口流出という課題から目をそらすことはできません。振り返ると、私も高校卒業後は長崎を出たくて仕方ありませんでした。やはり長崎から見る東京、大阪、福岡は華やかでしたし、楽しいことも知らないことも盛りだくさんの世界に見えていました。それがきっかけで、大学は大阪に進学したのですが、実際に行くと華やかな街並みが広がっていました。長崎にはなかったものに溢れている様を体感した時に、都会ってすごい、面白いなってシンプルに感じたのを今でも鮮明に覚えています。

それから私はまた地元の長崎に戻ってきましたが、昔から地元の人がよく耳にする言葉が「地元長崎で学んで（進学して）、そのまま長崎に就職してもらおう」というフレーズです。個人的な意見ではありますが、私はそれだけが正解ではないと思っています。

ます。東京、大阪、福岡、名古屋といった都会を体感することも大きな経験になると思います。その上で、私たちが長崎で都会にないものを創造していき「都会にはないものを長崎は持っている」ことを実感できるようになれば、一度長崎から出た人たちもいつか長崎に戻ろうと思えるようになるのではないのでしょうか。そのためには故郷である長崎に戻りたいと思えるものを1つ、2つ、3つと創っていくことが大事で、そのうちの1つにこの長崎スタジアムシティがなれることを願って事業を進めています。

都会にないものを 明文化するという使命

県外に出ると、今でも「長崎ってどんなところですか」と尋ねられます。多くの長崎出身の人が「長崎は良いところだよ」と答えたいはずですが。しかし、何がどのように良いのか、言葉で伝えるには長崎のまちづくりにおいて何かが足りていないように思えるのです。「長崎は決して都会ではないですが、

プロスポーツクラブが2つもあり、しかもどちらのチームもトップリーグで活躍している。そしてどこにも負けない演出とエンターテインメントを感じ取れる長崎スタジアムシティがある」と言っていただけの存在を目指しています。

サッカーの試合だけでなく、街全体の日常の間を感じ取ることでも長崎に来た人に感動してもらう。その感動がやがて長崎の誇りとなっていく、そのような未来を描いています。

スポーツを通じて九州を盛り上げる

プロスポーツの世界では、「○○ダービー」という呼び方をよく聞かれます。一般的には同じ都市を本拠地とするチーム同士の試合を「○○ダービー」と呼ぶことが多いと思いますが、九州ダービーの試合は本当に盛り上がります。お互いに「負けたくない」という気持ちをぶつけ合う熱気を感じ取ることができ、この熱気が生まれる環境は九州が特に強いと感じます。互いに高め合い、成長し合うと関係といえるでしょう。おそらく九州内の県はどこも仲間だと思つと同時に、ライバルだと思つ気持ちがあると思っています。そのような関係性だからこそ、九州全体が盛り上がっていくムーブメントがスポーツ界では起きていて、この

ムーブメントはきっとビジネスでも起こすことができる、もつと言えばビジネスに限らずとも様々な場面で起こすことができるはずだと信じています。

ムーブメントを起こすためには、きっかけを創り出す仕掛けが必要です。その意味で、長崎スタジアムシティという唯一無二のコンテンツで、福岡一強と言われる九州に一石を投じることで「長崎には負けたくない」「長崎に出来るならば私たちも」など、九州他県の人たちのライバル心に火をつけ、九州全体を共に盛り上げていきます。

戦争の愚かさを知る長崎 100年に一度の変革へ

ここ長崎には、広島とともに、戦争の愚かさを代々伝えていく土地柄があります。長崎に生まれて地元で暮らす私たちも、普段の生活ではそれほど意識していなくても、ふとした時に平和への想いを強くすることがあります。私の場合は、コロナ禍が一つのきっかけでした。当たり前の日常が失われて、ようやく平和に気づける。平和が生む豊かさを享受できる場づくりを通じて、平和のありがたさを知るきっかけになれば、という想いはあります。

「PEACE STADIUM Connected by SoftBank」アリーナは「HAPPINESS

AREN A」という施設名で、平和の要素が盛り込まれています。訪れるすべての人が平和を感じ、平和について考える場所になってほしいと考えています。

100年に一度の変革期となる長崎で、「長崎に遊びに行きたい」「長崎で暮らしたい・働きたい」という方が増え、長崎の街が誇りに満ちた場所となり、ひいては九州全体の団結と活性化をもたらせるよう、民間企業として覚悟をもって活動を進めてまいります。



株式会社 リージョナルクリエイション長崎

- 代表取締役社長：岩下 英樹
- 代表取締役：高田 旭人
- 設立：2019年6月1日
- 資本金：1億円
- 事業内容：地域創生事業に関わる事業戦略・事業企画、長崎スタジアムシティの企画・運営
- 従業員数：669人(パート・アルバイト含む)※2024年8月現在
- 所在地：[本社]長崎市万才町
[長崎]長崎市湊町



長崎スタジアムシティ

2024年10月14日(月・祝)、

長崎の新たな

ランドマークが誕生します

JR長崎駅から徒歩約10分と長崎市の中心地に位置する長崎スタジアムシティは、プロサッカークラブ「Vファーレン長崎」のホームとなる約20,000席を完備した「PEACE STADIUM Connected by SoftBank」、プロバスケットボールクラブ「長崎ヴェルカ」のホームとなる約6,000席を完備した「HAPPINESS ARENA」、日本初のサッカースタジアムビューホテル「スタジアムシティホテル長崎」、食べる・学ぶ・遊ぶが詰まった楽しさあふれる商業施設「STADIUM CITY SOUTH」、国内外の企業を誘致する長崎県内最大級のオフィスビル「STADIUM CITY NORTH」の5つの施設から構成されています。

地域活性化の起爆剤となることが期待される長崎スタジアムシティの各施設をご紹介します。



ピース スタジアム コネクテッド バイ ソフトバンク
PEACE STADIUM Connected by SoftBank



ピッチまで最短5mの観客席

臨場感あふれる
日本一ピッチに近いスタジアム

約20,000席の客席を完備した、プロサッカークラブ「V・ファーレン長崎」のホームスタジアム。ピッチまで最短約5mと選手を間近に感じ、コンパクトで臨場感あふれる空間となっています。また、選手と同じ目線で試合観戦できる「プレイヤー席」など、豊富なVIP席で特別な時間を体験することができます。



できたての新鮮なクラフトビールが楽しめる

賑わいを創出する
ブルワリーカフェ

国内で初めてビールの醸造施設があるサッカースタジアムが完成しました。オリジナルクラフトビールは約100種類、年間で約9万リットルを醸造する予定となっています。

ビールを片手にサッカーやバスケットボールを観戦するのはもちろん、試合のオフ日でもクラフトビールを楽しむことができます。

ハピネス アリーナ
HAPPINESS ARENA



HAPPINESS ARENA外観

新しい体験を提供する
多機能・可変型のアリーナ

BIのプロバスケットボールクラブ「長崎ヴェルカ」のホームとなる「HAPPINESS ARENA」。長崎ヴェルカのホームアリーナとして使用されるメインアリーナとクラブハウス・練習場として活用されるサブアリーナを併設。メインアリーナ屋上にはフットサルコート、サブアリーナ屋上には3×3コートを設置しています。

試合だけでなく、音楽やエンターテインメントに対応できるアリーナはたくさんのHAPPINESSを創り出します。

ハピネス アリーナ
HAPPINESS ARENA



プロの迫力ある練習風景をガラス越しに見ることができるクラブハウス(※)



メインアリーナ

スタジアムシティ ホテル ナガサキ
STADIUM CITY HOTEL NAGASAKI



ホテルの外観(※)

365日、日本初の
サッカースタジアムビューホテルで、
特別な感動とくつろぎを

〈各フロア情報〉

- 14F: ライブレストラン・バー
- 13F: スイートフロア・クラブラウンジ・ライブレストラン
- 9F~12F: メイン客室
- 8F: キャラクターフロア(ヴィヴィくん、LUCA)
- 7F: フロント・レストラン
- 6F: エステ・スパ・温浴施設・プール・フィットネス
- 5F: プラチナボックス
- 4F: バンケット
- 3F: 商業エリア
- 2F: フードコート
- 1F: 駐車場・エントランス

全243室(全室禁煙)の日本初サッカースタジアムビューホテル。スタジアムを一望できるスタジアムビューと長崎の街並みを臨むシティビューの2種類の客室があり、サウナやプール、ジェットバスからもサッカースタジアムビューを楽しむことができます。

食事はイノベータータイプフレンチや本格イタリアンをご用意。ホテルに設置しているテレビや加湿器などの家電、ベッドマットレスなどの寝具を宿泊後に購入できるのも、ジャパネットグループならではのサービスです。

スタジアムシティ ノース
STADIUM CITY NORTH 〈オフィスビル〉



NORTH

新しい働き方を提供する
オフィスビル

長崎県内最大級のオフィス棟で、国内外の企業を誘致しています。開放感たっぷりのバルコニーを備えた区画やスタジアムを一望できる応接室、VIPルームを使った商談・会食など、スタジアムを中核とした商業施設の特性を活かしたオフィスビルとなっています。また、入居企業専用のラウンジを設置しており、企業間の交流の場を提供します。

スタジアムシティ サウス
STADIUM CITY SOUTH 〈ショッピングモール〉



食べる・学ぶ・遊ぶが詰まった
楽しさあふれるショッピングモール

長崎初出店のショップやレストラン、習い事教室やアミューズメント施設、世界初となるサッカースタジアム併設の温浴施設など、毎日通つても楽しむことができる場所を実現しています。

長崎スタジアムシティ



- 住 所：長崎市幸町7番1号
- 運 営：リージョナル
クリエーション長崎
- 駐車台数：約1,100台
- 開 業：2024年10月14日

(※) 画像は施工段階のため今後デザイン含め変更の可能性があります
提供：長崎スタジアムシティ



スタジアムの上空を滑走するジップライン(※)

ここだけの非日常体験

日本初となるスタジアム上空を通るジップラインや、イベント・グッズショップなど「非日常」を楽しむことができます。